

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	19-1
PDCA	主要事業名		健康づくり推進事業		部課名		福祉部健康課			担当	榊原
										内線	358
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 1 単位施策： 健康づくり										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 1,671 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 04.01.01.0401				
	事業概要等		事業概要： 健康寿命の延伸および自殺者の減少のため、年齢を問わず市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進する。								
			事業目的： 市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進することで、健康寿命の延伸および自殺者の減少を目的とする。								
			事業内容： 市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進するため、健康講座、健康相談および人材育成等を行う。								
			問題点・課題等： 生涯にわたり生活習慣病を予防するため、若い年齢層への働きかけが重要である。また、社会全体の問題として自殺対策に取り組む必要がある。								
	予算額		主要事業とする理由								
	1,671 千円		市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進することで、健康寿命の延伸および自殺者の減少を図るため。								
	財源内訳		得られる成果								
市費		市民の健康度が上がることで、健康寿命の延伸および医療費の削減につながる。また、こころの健康も推進され、自殺者の減少にもつながる。									
869 千円		目標値や目指すべき状態									
国費		令和2年度 令和3年度 令和4年度 単位									
0 千円		はんだ健康マイレージカード									
県費		実績値									
802 千円		556 606 - 人									
その他		交付延人数									
		目標値									
		1,200 1,000 800 人									
		メタボリックシンドローム該当者率									
0 千円		実績値									
		26.1 27.1 - %									
		目標値									
		23.0 20.0 20.0 %									
		ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合									
		実績値									
		85.7 96.0 - %									
		目標値									
80.0 80.0 80.0 %											
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果								
	1,199 千円		・健康マイレージ事業では民間企業の協力を得て、インセンティブによる健康づくりの推進ができた。								
			・こころの健康づくりやゲートキーパー養成講座を実施し、学校関係者や女性の多い民間企業などの協力を得て、女性や若者に対する自殺対策を行うことができた。								
			成果指標								
			令和4年度 単位								
			はんだ健康マイレージカード交付延人数								
			実績値								
			589 800 人								
			目標値								
			メタボリックシンドローム該当者率								
		実績値									
		- 20.0 %									
		目標値									
		20.0 %									
		ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合									
		実績値									
		98 %									
		目標値									
		80 %									
C 課題の整理	事業の評価・課題		C								
			・民間企業の協力を得てインセンティブによる健康づくりの推進ができた。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進								
			・若年層の参加を促すために愛知県が実施するアプリ「あいち健康プラス」の導入を検討する。								
			・エントリーシートの改訂や加算ポイントの新設、小中学生を対象とした「キッズマイレージ」を開始する。								
			・こころの保健室の時間の拡大やWEB相談など、利用しやすい相談窓口に拡充する。								
			・学校教育課と協働してR5から小中学校の教職員を対象にゲートキーパー養成講座を実施する。								
	観点別評価		必要性		有効性				効率性		
			①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 中程度				⑦コスト削減 ない		
			②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある				⑧受益者負担適正化余地 ない		
			③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない						